

平成30年度 みたけ地区まちづくり懇談会 懇談事項

平成30年7月23日(月)

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
みたけ	1	<p>地域力強化モデル事業について</p> <p>現状と今後の方向性について                      昨年6月、みたけ地区が厚生労働省社会援護局地域福祉課の提唱する「我が事・丸ごと」の地域づくりの強化に向けた取組の推進のうち「地域力強化推進事業」のモデル地区に選定されました。</p> <p>盛岡市から盛岡市社会福祉協議会が本件事業推進の委託を受け実施しているところですが、これまでの活動については、社会福祉協議会作成のパンフレット、新聞報道並びに盛岡市のホームページの掲載記事などにより知り得ますが、詳細については充分把握できない状況にあります。これまでの活動実績と今後の予定並びに方向性について公表できる範囲で教えていただきたい。</p> <p>地域力強化推進モデル事業の説明を受けてから約1年が経過し当地区の活動や取組についてどのように捉えておられるか。また、実態を踏まえ地域力強化のための体制や支援をどのように行おうとしているのか、各町内会、推進会との関わりを含め現時点でのお考えを伺いたい。</p>	<p>地域力強化推進事業は、地域の社会資源の調査により、社会資源マップを作成したみたけ地区及び杜陵地区をモデル地区に選定して実施しております。</p> <p>みたけ地区では、市社協主催の地区福祉懇談会におきまして、「地域の人が集まれる場所や活躍できる機会」、「高齢者の見守りや支援、子育て支援」などの課題が挙げられたことから、これらの解決に向けた活動として、平成29年度に、ボランティア養成講座を30年1月から3月まで6回開催し、延べ63名に参加いただいております。講座内容は、子ども、障がい、高齢者、居場所の各分野の専門職員を講師に招き、参加者に、子どもの行動や認知症の方への接し方、障がい者への配慮等のボランティアする上で必要な知識を習得していただきました。</p> <p>30年度は、8月7日から9日の3日間、小学生とその家族を対象に、地域の方やボランティア養成講座に参加した中・高・大学生の協力を得て勉強会や交流活動等を企画しております。方向性としては、ボランティア養成講座の参加者が、みたけ地区の課題にも対応した活動を自主的に立ち上げていただくことを目指しております。</p> <p>これまでの活動については、手法の検討に時間を要したものの、ボランティア養成講座の参加者が企画した活動を、実践する見込みであることから、順調に進んでいるものと捉えております。</p> <p>今後については、地域の方とボランティアの方が連携し、地域の課題解決に向けた活動がしやすいように、福祉推進会とその仕組みづくりを進めていきたいと存じます。</p>	<p>保健福祉部 地域福祉課</p>

平成30年度 みたけ地区まちづくり懇談会 懇談事項

平成30年7月23日(月)

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
みたけ	2	<p>空き家問題について</p> <p>(1) 盛岡市全体としての実態について</p> <p>(2) 高齢化, 少子化の推移について</p>	<p>(1) 平成27年度に町内会・自治会の御協力をいただいて実施した空き家等実態調査においては, 3,517件の空き地・空き家が把握され, そのうち問題のある空き家等は952件報告いただいております。そのほか, 市民から相談のあった空き家等が平成26年度から30年5月末までに577件となっており, 現在1,529件が適正管理を行う対象と把握しているところです。</p> <p>(2) 国勢調査に基づく, 本市の65歳以上の老年人口及び人口に占める割合は, 平成2年には, 30,826人, 10.5%で, 12年には, それぞれ48,469人, 16.0%, 22年には, 63,721人, 21.6%となっており, 直近の調査結果である, 27年には, 73,729人, 25.1%と, 数, 割合とも右肩上がりが増えていきます。</p> <p>26年に本市が行った人口推計では, 人口減少が進む一方で, 老年人口, 割合とも増加し, 32年には, それぞれ80,831人, 27.8%に, 42年には, 86,799人, 31.9%, 52年には, それぞれ, 90,685人, 36.3%まで上昇すると見込んでいます。</p> <p>また, 同様に, 15歳未満の年少人口, 割合は, それぞれ, 2年には, 56,718人, 19.4%で, 12年には, 46,159人, 15.2%, 22年には, 38,771人, 13.1%, 27年には, 36,828人, 12.5%と, 数, 割合とも減少しています。</p> <p>同様に, 将来推計では, 年少人口数, 割合とも減少し, 32年には, 33,532人, 11.5%, 42年には, 27,113人, 10.0%, 52年には, 23,339人, 9.4%まで低下すると推計しています。</p> <p>このような現状を踏まえ, 市では, 人口減少や少子高齢化への対応を進めるため, 「人口ビジョン」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し, 結婚・出産・子育てにおける, 切れ目のない支援や, 若者・女性がやりがいと魅力を感じられるしごとの創出などに取り組んでおります。</p>	<p>市民部 くらしの安全課</p> <p>市長公室 企画調整課</p>

平成30年度 みたけ地区まちづくり懇談会 懇談事項

平成30年7月23日(月)

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
みたけ	2	(3) 対策として、行政の役割・地域の役割について	<p>(3)【適正管理】</p> <p>空き家等対策における行政の役割は、①適正管理に向けた啓発、②適正管理の支援、③周辺的生活環境に危険を及ぼす特定空き家等への対処の3点と認識しております。</p> <p>このうち、①適正管理に向けた啓発としては、空き家等の所有者に対し、管理のポイントなどを示した冊子を配布しており、②適正管理の支援施策としては、所有者を対象とする無料相談会を開催し、空き家等の処分について専門家に相談する機会を設けているほか、草刈業者などに関する情報を提供して、所有者が自主的に管理できるよう支援する取組を進めております。また、③特定空き家等への対処としては、所有者に対する指導をこれまでに52件行っているところです。</p> <p>空き家等対策における地域の役割としては、地域で困っている空き家等についての情報をお寄せいただくほか、空き家になる前に近隣同士で連絡先を交換するなどして、問題のある空き家等の発生を予防するよう御協力をお願いします。</p> <p>なお、空き家等の雑草や枝の越境などについては、地域と市との協働による問題解決の方策も検討してまいりたいと存じます。</p>	市民部 くらしの安全課

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
みたけ	2		<p>(3)【利活用】                      利活用に係る行政の役割は、①空き家バンク制度の推進、②補助制度等の支援、③公共的な施設としての活用の3点と認識しております。</p> <p>①空き家バンク制度の推進としては、空き家の中には、有効活用できるものが少なくないことから、皆様から情報提供のありました空き家を現地で確認し、利活用が可能と判断した空き家については、所有者へのアンケート調査等を通じて、空き家バンク制度の周知や登録への働きかけに取り組んでおります。</p> <p>②空き家バンク制度に係る補助制度等の支援としては、住宅として活用する場合において、購入者の改修費用等に係る補助を平成29年度より行っており、平成30年5月には、住宅金融支援機構と協定を結び、改修費用等に係る借入金利の引下げ制度との連携支援にも取り組むなど、制度の拡充を図っております。</p> <p>③公共的な施設の活用としては、地域の公民館・集会所、地域交流サロン、子育て支援施設などの事例があることから、関係課において施策横断的に情報を共有し、地域の皆様からの要望等を踏まえながら検討を行っております。</p> <p>なお、昨年度の実績として、空き家等バンクに登録した物件は全て利用されたことから、空き家解消に向けて一定の効果がある制度と認識しておりますが、登録物件を増やすことが課題と認識しており、地域の皆さまにおかれましては、空き家となった場合や空き家となることが想定される所有者に対し、市に相談するように働きかけていただきたく、御協力をお願いいたします。</p>	都市整備部 都市計画課

平成30年度 みたけ地区まちづくり懇談会 懇談事項

平成30年7月23日(月)

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
みたけ	3	<p>子育て世代が安心して住み続けられるやさしいまちづくりについて</p> <p>「子育てに安心やさしいまちみたけ」 ー共に支え合える地域づくりにむけてー</p> <p>(1) 平成30年4月開設の「子ども未来ステーション」について</p> <p>(2) 地域子育て支援センターについて</p>	<p>(1) 「子ども未来ステーション」について 子ども未来ステーションは、妊娠期から就学前まで安心して子育てができるよう支援を行う子育て世代包括支援センターと、児童虐待への対応を中心とした支援を行う子ども家庭総合支援センターが一体となったワンストップ型の支援拠点として、市保健所1階に開設しています。 子ども家庭総合支援センターは、社会福祉士、心理担当職員等の専任職員6人を配置し、県の児童相談所等と連携しながら、児童虐待への対応を行うほか、子育て支援サービス(子育て短期支援事業、ファミリーサポートセンター、地域子育て支援拠点)の調整や情報提供なども行っております。 子育て世代包括支援センターは、平成28年4月に開設し、保健師、助産師、社会福祉士を配置し、母子健康手帳の交付、妊婦相談や子育て相談、妊産婦・乳幼児家庭訪問などを行っております。</p> <p>(2) 地域子育て支援センターについて 家庭で子育てをしている保護者の子育ての孤立化や不安感、負担感を軽減するため、保育所に入所していなくても親子が気軽に集い、交流や子育ての不安・悩みを相談できる拠点として、市内8カ所の保育園に地域子育て支援センターを併設しています。 みたけ地区の最寄のセンターは、みたけ保育園地域子育て支援センターであり、月曜日から金曜日までの8:30から16:15まで(12:00から14:45は休み)、親子で遊び場や園庭を利用できるほか、専任の保育士に子育てに関する相談をすることができます。また、健康講座や誕生会などのイベントも開催しています。</p>	<p>子ども未来部 子ども青少年課</p> <p>子ども未来部 子ども青少年課</p>

平成30年度 みたけ地区まちづくり懇談会 懇談事項

平成30年7月23日(月)

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
		<p>(3) 保育施設等の状況について 待機児童の解消に向けての取組として、みたけ地区に限らず、近隣の地域の保育施設の設置状況について教えていただきたい。</p> <p>(4) 放課後児童の安心安全教育支援等の対策について 放課後の居場所として、児童センターや子ども教室がありますが、具体的にどのような取組を行っているのか教えていただきたい。</p>	<p>(3) みたけ地区及び周辺地域の保育施設の状況について みたけ・青山・厨川周辺地域には、合計で16の保育施設が設置されており、保育所が10施設、幼稚園と保育園の両方の良さを併せ持つ認定こども園が3施設、0～2歳児を対象とする小規模保育所が3施設、設置されています。 待機児童の解消に向けて、民間事業者の施設整備への補助や定員を超えて児童を受け入れた保育所への補助に取り組み、保育所定員の拡大を図っております。</p> <p>(4) 放課後児童の安心安全教育支援等の対策について 【児童センター】 児童センターは、放課後安心・安全に過ごせるように、原則小学校区に一施設設置することで進めておりますが、講師をお願いして実施するサッカーやバトミントンなどの体育教室、折り紙や工作などの文化教室、クリスマス会や七夕会など季節に合わせた行事、遠足や昔あそびなど親子や世代間の交流などの取組を行うなど、児童が心身ともに健やかに育成されるよう支援しております。</p>	<p>子ども未来部 子育てあんしん課</p> <p>子ども未来部 子育てあんしん課</p>

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
		(4) 放課後児童の安心安全教育支援等の対策について	<p><b>【放課後子ども教室】</b>                      放課後子ども教室は、放課後、週末等における子どもたちの安全・安心な活動拠点を確保するとともに、地域の多様な方に参加していただき子どもたちに学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会を提供するものとして文部科学省が推進している事業です。活動内容は地域ごとに決めてよいこととされており、また、文部科学省から実施頻度は週1回程度を目指してほしいとの目安が示されています。</p> <p>盛岡市においても国から経費の3分の1の補助を受けて平成19年度から実施しており、現在、市内には5カ所の教室があります。各教室とも地域のボランティアの方の協力のもと運営されており、活動内容や実施頻度は教室ごとに異なっています。</p> <p>上田ジュニアキャンパスは、月1～2回、上田公民館において、工作、合唱、昔の遊びや文化体験活動を行っております。</p> <p>うれし野こども図書室子ども教室は、週2回、若園町の総合福祉センターの一室において、本の貸出しや読み聞かせを行っております。</p> <p>中屋敷公民館子ども教室は、週1回、中屋敷町自治公民館において、本の貸出しや読み聞かせを行っております。</p> <p>渋民放課後子ども教室は、月1～2回、渋民公民館において、自然体験活動や演劇ワークショップを行っております。</p> <p>繫小学校放課後子ども教室は、小学校の授業日のほぼ毎日、繫小学校の図書室において、放課後に読書や家庭学習をする子どもたちの見守りを行っております。</p>	教育委員会 生涯学習課